

利用者も家族も安心できる場を
息子の障害を機に一念発起山崎明美さん
支援施設オープンかすみが
うら市

障害者の就労や社会参加を支援するサポートステーション・オリオン（山崎明美代表）が昨年11月、かすみがうら市田伏にオープン。現在、利用者を受け付けている。

「利用者も家族も安心して充実した日々を送れるように支援したい」と、ゼロから準備して開設にこぎつけた代表の山崎さん(57)。きっかけは三男(24)の行き場がないことだった。

4年前の1月、自損の交通事故で約1カ月も意識不明が続

き、命は取り留めたが脳に傷を負い高次脳機能障害となった三男。見た目には健常者と変わらないが感情のコントロールができず、怒りっぽく思い込みを通そうとする。そのため日常生活や障害者施設でもトラブルを起こし、どの施設も1カ月ほどで通所を断られた。なんと

か6カ所目の施設を探し通い始めたものの結果は同じ。「手に余るから」と拒否される現実に納得できないまま三男の行く末を夫と案じる中、「それなら自分たちで造るしかない」と決めた。とはいえ、それまで

障害や福祉とは無縁の生活を送っていた山崎さん。とりあえず各地の施設を訪ねてノウハウを教わる一方、土地探しを開始。運営母体となる社団法人を立ち上げ、命名でふと浮かんだ

のが自身の故郷・岩手県花巻市が生んだ宮沢賢治の作品にある「銀河」。さらに施設名をオリオンとし、送迎車のナンバーも999にこだわった。

「障害のある方が一人でも多く地域で就労できるよう一杯支援したい」と山崎さん。そして、三男のトラブルで電話が鳴るたびに心臓がドキドキした経験から「ご家族の方

も安心できれば」と話す。現在、施設での作業は大手出版社の付録作りや野菜作りで、順次増やしていく予定。レクリエーションや地域参加のイベントも行う。利用は月の午前9時半〜午後3時。申し込み・問い合わせ ☎029(875)7097/オリオン（かすみがうら市田伏5428）



「気軽に見学にきてください」と山崎さん